

らブル エー 電ケ 河ミ 古アル メガソーラー発電所に採用 銅線盗難を抑止

古河電気工業と古河電工産業電線が開発・製造し、SFC（川崎市、黒須光明社長）が販売する高機能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」が、山梨県内のメガソーラー発電所に採用された。近年多発する銅線の盗難に対する防止策として、効果が期待されている。また盗難被害に遭った同現場の早期復旧にも貢献した。メガソーラー発電所を始めとする産業用太陽光発電所

は、敷地が広い上に人気が少ない立地にあることが多いため、銅線の転売を狙ったケーブルの盗難が多発している。同製品は導体にアルミニウムを採用し、ケーブルシースが青く、重さの違いなどからも銅導体CVケーブルとの識別が容易なため、比較的高価で転売しやすい銅線よりも盗難されにくいという効果が期待できる。また、軽量で扱いやすいため、早期復旧を望む

アルミケーブルの使用を知らせる看板で盗難防止効果が期待できる



現場の作業効率改善にも貢献できる。今回の事例で施工を担当した電気工事業者からは「延線作業はパワーボールなどの機材を使わずに人力のみで終わ

らせることができた。これだけの量を人手で延線するのは他のケーブルでは難しい」との感想が寄せられている。接続材料には、新たに開発した「銅導体ケーブル2本対アルミ導体ケーブル2本」銅導体ケーブル1本対アルミ導体ケーブル2本」といった導体材質が異なる複数本のケーブルを接続する材料を導入した。同製品は、これまでに100件を超える建設現場での導入実績があり、今後2024年度までに売上高を20億円まで拡大する計画だ。

